


鼻煙壺 沖 正一郎コレクション

小さきものは皆うつくし

2016年
2月14日(日)ー28日(日)、3月5日(土)ー21日(月・休)



展覧会について

鼻煙壺とは嗅ぎたばこを携帯する容器のことです。嗅ぎたばこは粉末状のたばこを直接鼻から吸い込むもので、薬としての効果があるとされ、中国には17世紀後半ごろにヨーロッパから伝えられました。鼻煙壺の製作はその時に始まり、中国で独自につくられましたが、携帯用のため大きさは10センチにも満たず、その小さな可愛らしさから、現在では世界中の人々に愛されています。

展示作品はすべて、世界的な鼻煙壺コレクター・沖 正一郎氏のコレクションから約300点を厳選しました。平安時代の随筆『枕草子』に記される「小さきものは皆うつくし」という言葉から、わたしたち日本人が古来より小さいものを愛でる心をもっていたことがわかります。その系譜の体現者である沖氏が出会った、鼻煙壺という「小さきもの」の魅力をご紹介します。

沖 正一郎氏 略歴

1926年生まれ、東京出身。1974年伊藤忠商事株式会社入社。株式会社ファミリーマートを設立し、初代社長を務める。その他、各企業・団体の重役を歴任。勲三等瑞宝章、紺綬褒章を受章。

同時開催

2016 松濤美術館公募展

2016 松濤美術館公募展
2月14日(日)～28日(日)

第34回 渋谷区小中学生 絵画展

第34回渋谷区小中学生絵画展
3月5日(土)～21日(月・休)

天野房三 洋画展

天野房三洋画展
2月14日～28日(日)、
3月5日(土)～21日(月・休)

主な展示作品

鼻煙壺の魅力は多様な素材と精緻な技法にあります。本展覧会では、素材別に「陶磁」、「ガラス」、「金属」、「貴石・石」、「動植物」の5つの章に分けて展示します。またそれぞれの素材に施される中国工芸の伝統的な技法も見どころです。



1. 白ガラス雕琢
上絵毫臺文鼻煙壺



2. 白ガラス三彩
楼閣花鳥文鼻煙壺



3. 礫岩石鼻煙壺



4. 紫砂白堆
山水文鼻煙壺



5. 象牙籠形鼻煙
壺



6. 石鼻煙壺



7. 雪片ガラス赤
被せ八吉祥文鼻煙
壺



8. 黄色ガラス
鼻煙壺



9. 青ガラス上絵
八吉祥文鼻煙壺



10. 七宝鳳凰文
鼻煙壺

開催概要

- 展覧会名 「小さきものは皆うつくし 鼻煙壺 沖 正一郎コレクション」
会期 2016年2月14日(日)～28日(日)、3月5日(土)～21日(月・休)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 2月15日(月)・22日(月)・2月29日(月)～3月4日(金)・7日(月)・14日(月)
入館料 無料
主催 渋谷区立松濤美術館
会場 渋谷区立松濤美術館
〒150-0046
東京都渋谷区松濤 2-14-14
電話：03-3465-9421
<http://www.shoto-museum.jp/>
交通案内 JR・東京メトロ渋谷駅下車徒歩 15分
京王井の頭線神泉駅下車徒歩 5分
お問い合わせ 渋谷区立松濤美術館
(電話：03-3465-9421)



※広報に関するお問い合わせ(広報用画像もご用意しております。)

電話：03-3465-9421 FAX：03-3460-6366 E-mail：info@shoto-museum.jp

広報担当：鈴木・増田 展覧会担当：増田

会期中イベント

学芸員による鼻煙壺ガイド

2月20日(土)、3月12日(土) 午後2時より

※事前予約の必要はありません

館内建築ツアー

松濤美術館ならではの建築デザインや素材について解説します。

2月19日(金)、3月11日(金) 午後4時より

※定員 20名

